

0-7

アスタキサンチン使用による唾液量の増加

An increase in salivation was induced by astaxanthin

比嘉 貴子

比嘉歯科医院

Studies of anti-aging medicines have revealed that oxidative stress affects aging and is associated with various diseases. From the viewpoint of oral anti-aging responses, saliva is an important factor related to various diseases, including those leading to a depression of swallowing.

The purpose of this report was to present the effects of an astaxanthin (AX) on the salivation of seven patients, and to evaluate the potential role of AX as an anti-aging medicine.

【目的】

アスタキサンチン（AX）使用者の唾液量増加症例を提示し、アンチエイジング歯科医療における役割を考察することである。

【方法】

BML う蝕検査により、唾液量リスク判定患者7名（ノーリスク以外のすべてのリスク者）に対し、AX 1日12mgを摂取させ、5分刺激唾液量と乳酸桿菌数を、1週間後（n=4）、2週間後（n=7）に検査し、摂取前後、未使用群（n=6）の結果と比較した。

【結果】

AX使用群は、摂取前に比べ、2週間後に、有意に唾液量が増加した（ $p<0.05$ ）。また、AX使用群7名の乳酸桿菌数は、2週間後、5名が減少、変化なしと増加が各1名で、ノーリスクの5名では判定変化はなく、リスク判定患者2名において、ハイリスクからリスク、ローリスクからノーリスクに減少していた。

【結論】

唾液分泌の改善は、疾患予防のみならず、「食事を楽しむ」という観点からも、健康長寿の大きな目標のひとつである。また、本邦におけるドライマウスの推定患者数は、約3000万人とも言われているが、今回の結果は、抗酸化作用を有するアスタキサンチンの摂取が、口腔乾燥改善に役立つ可能性を示唆している。